

諏訪中央病院 医療援助団体アムダと被災地支援で協定

南海トラフ地震を想定

徳島・高知へ医療チーム派遣

諏訪中央病院（茅野市）とはこれらの避難所で、他の医療機関の派遣チームと共に、アムダは中国・四国地方を中心とする大規模災害に備え、同時に被災する可能性が

低く遠方の協定先を探していた。同病院の鎌田実名菅院長が昨年7月の西日本豪雨の被災地で支援活動をした際、アムダ関係者と知り合った縁で、協定を結ぶことにした。

同病院でこの日行われた調印式で、吉沢徹院長は「災害時の医療支援にたけたアムダ

諏訪中央病院（茅野市）とはこれらの避難所で、他の医療機関の派遣チームと共に、アムダは中国・四国地方を中心とする大規模災害に備え、同時に被災する可能性が

低く遠方の協定先を探していた。同病院の鎌田実名菅院長が昨年7月の西日本豪雨の被災地で支援活動をした際、アムダ関係者と知り合った縁で、協定を結ぶことにした。

と協力できてありがたい」。援の輪を広げる大きなメッセージになる」と述べた。

と協力できてありがたい」。援の輪を広げる大きなメッセージになる」と述べた。



協定書に調印する吉沢院長（左）と菅波理事長